

み 色 水 の た ま

オフィス上の空プロデュース
キ上の空論#9

作・演出 中島庸介

2018年10月17日(水)～24日(水)
@あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)



みどり色の水沟のキス

オフィス上の空プロデュース
キ上の空論#9

演出 中島庸介

小学5年生の頃、マコトは妹のミドリに恋をした。
それが正しい恋ではない事をマコトはとて理解していた。

そんなある日、マコトの祖父が死んだ。
落ち込むミドリの前で母は言う。『おじいちゃんは生まれ変わって、きっとまた会いに来てくれる』
それを聞いていたマコトは“輪廻”という言葉を知る。マコトはミドリを殺す事にした。
ミドリが生まれ変わる事で、血の繋がっていない“他人のミドリ”に会えると考えたのだ。
マコトは眠っているミドリの顔に枕を押し付け、そのまま殺した。母はこの日から頭のネジが何本か無くなった。

それから6年が経ち、高校2年生になったマコトの前に、臨時で赴任してきた教師が現れる。
ミドリだった。どこからどう見てもミドリだった。だいぶ大人になったけど、見た目も、声も、名前も。
マコトは再びミドリに恋をする。マコトはミドリの長い髪が好きだった。
下がった眉毛も、他の子より華奢な体も、やわらかい声も、口調も、何もかもを愛していた。
しかし、教師のミドリは交通事故で死んだ。
蛇口をひねったように涙をこぼすマコトだったが、幼馴染のハルヤマのおかげで、なんとか立ち直る。

そしてまた6年が経ち、印刷会社に就職したマコトは、同じ新入社員の中に再びミドリを見つけた。
かつて妹だったミドリが、教師だったミドリが、同じ年齢になって帰ってきたのだ。
『輪廻なんやろかコレ・・・』
マコトはミドリに恋をして、必ず失う。けれど6年経つとミドリは蘇る、何度も・・・。

これは70年間の初恋の話。

キャスト



町田慎吾



新垣里沙



片山陽加



藤原祐規



高橋明日香



平田裕香



岩井七世



野田裕貴



清水みさと



齋藤明里



野口オリジナル



藍澤慶子



須田拓也



Q本かよ



石塚みづき



加茂井彩音



市川大貴



ホリウウキ



岸田エリ子



中三川雄介



木村美月



山脇辰哉

日程

2018年10月17日(水)～24日(水)

	17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)
13:00				●	●			
14:00							●	●
18:00				●	●			
19:00	●	●	●			●	●	

※受付は開演の45分前、開場は開演の30分前となります。

チケット

前売 6,000円 当日 6,500円

〈一般販売〉2018年9月2日(日)11時～

※全席指定席。開演時間を過ぎますと、指定のお席にご案内できない場合がございます。

〈チケット取り扱い〉

【WEB予約】<http://confetti-web.com/midoriro>

【電話予約】カンフェティチケットセンター 0120-240-540(受付時間 平日10:00～18:00)



お問い合わせ

✉ kijyooo@office-uwanosora.com @kijyooo

舞台監督:住知三郎
照明:若原靖・中佐真梨香
音響:水野裕 映像:松澤延拓
舞台美術:仁平祐也(A) 衣装:埜田悠
演出助手:富田喜助 制作:吉田千尋
宣伝美術:津和野諒 写真:三宅英正
ヘアメイク:中野由衣 web:小林タクシー
企画製作:株式会社オフィス上の空

協力:あおい/アクロスエンタテインメント/アミューズ/
アービング/株式会社アクエリアス/トーカー/バー/エ
ECHOES/オフィスバレット/ジェビートルーム/データリーフ/
フオセット/コンシェルジュ/BLUE LABEL/MILLENNIUM PRO/
ヤザン/ババ/LUCKUP/LIGHT-ER/
ワタナベ/エンターテインメント/Astor/
アガリス/エンターテインメント/阿佐ヶ谷/スバイダース/犬と串/
梅棒/演劇ユニット/ソルナ/オーストラマ/コンドール/柿喰/客/
空間企画/鴻陵座/ポップン/マッシュルーム/チキン/野郎/
野生児堂/レリクル/東京座

スタッフ

会場

あうるすぽっと
OWLSPOT THEATER

〒170-0013 豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル2F
TEL.03-5391-0751 FAX.03-5391-0752



キ上
空論

2013年12月旗揚げ。“オフィス上の空”代表・劇作家の中島庸介の個人ユニット。
言葉遊びや韻踏み、擬音の羅列や呼吸の強弱、若者言葉や方言など、
会話から不意に生まれる特有のリズム(音楽的言語)を手法に『ありそうでなさそうな日常』を描く。